

Rafiki 通信

2025 年 10 月 26 日

第 1 号 大下 泰治

この「Rafiki 通信」を通して、自分が肌で感じ、見たことをいろいろとお伝えできたらなと思っています。「Rafiki」とは、スワヒリ語で「友だち」という意味です。タンザニア人からよく「Rafiki」と呼ばれますが、名前も知らないし、「誰やねん」って思うことも多々あります。(笑)ただ、不思議とこの言葉を聞くと自然と親しみを感じてしまいます。誰に対してもウェルカムな雰囲気 of タンザニアの様子を届けていくために、「Rafiki」という名前を付けました。この「Rafiki 通信」を通じて、タンザニアの魅力、自分の活動を発信していきたいと思っています。

今回の「Rafiki 通信」では、タンザニアの基礎情報、JICA 海外協力隊に応募した理由についてお伝えしていきます。第2号では、ダルエスサラームでの生活についてご紹介していく予定です。

・タンザニア基礎情報



タンザニア連合共和国

緑: 自然・農地

黒: 国民

青: インド洋

黄: 鉱物資源

公用語: スワヒリ語、英語

首都: ドドマ

(最大都市はダルエスサラーム)

面積: 945,087 km² → 日本の約 2.5 倍の面積

人口: 約 7,000 万人 → 日本の約 0.6 倍

通貨: タンザニア・シリング (TZS)

日本との時差: -6 時間

例) 日本朝 6 時の時、タンザニア夜 12 時

観光地: サファリ、キリマンジャロ、ザンジバル島など

[食生活]

主食: ウガリ、ワリ (お米みたい)

主菜: マハラゲ (豆)、牛肉、鶏肉

ウガリは、白いトウモロコシの粉を熱湯に入れて練って固めたもの。味はない。

インド移民の影響により、インド料理もよく食べられている。

またいろいろと紹介していきます。



ウガリと魚



ピラウと鶏肉

応募のきっかけ

大学に入ってからずっと海外に行ってみたい! と思っていました。ただ、行くタイミングを逃し続け、気付けば大学3回生の秋。そろそろ進路を決めなければ...と考えていた時に、大学連携でフィリピン教育実習が行われているのを知りました。ここしかない! と思い、参加しました。そこで、教育実習だけでなく、JICA マニラ事務所に訪問する機会がありました。ここで初めて JICA 海外協力隊という活動を知りました。

もともと教員を目指していましたが、大学卒業後すぐに教員になることが自分にとってまだまだ経験不足で、嫌だなと感じていました。そんな中、協力隊事業を知り、「卒業後は JICA 海外協力隊としていろんな経験を積んでいこう」と考え始めました。そのため、教員採用試験も受けず、就職活動も全くしませんでした。周囲からは、「教員採用試験受けなくて大丈夫?」とたくさん言われましたが、「協力隊一択」と考えていたため、全部無視。(笑) 今考えるとかなり頑固だったなと思います。無事に合格し、大卒フリーターをなんとか避けることができました。こんな感じで今、タンザニアで生活しています。

タンザニア豆知識

～挨拶～

タンザニアの方は、日本以上に挨拶を大切にしています。知っている人を見かけたら、遠くからでも挨拶しています。よく耳にするのは、「Mambo」という挨拶です。日本語だと、「よう!調子どう?」という感じです。

Mambo.と言われたら、Safi.や Poa.と返すのが一般的です。ぜひ、みなさんもタンザニアに来たときは、使ってみてください。

ただ、挨拶はこれだけではありません。まだまだいろんな種類があります。また、1ラリーで挨拶が終わることはあまりないので、複数覚えていく必要があるんです。慣れていくしかないなと思っています。タンザニアに来て、もうすぐで1か月が経ちますが、いまだに知らない挨拶をされる時があります。そんな時は、相手が言った挨拶を繰り返し言えば、意外となんとかなります。

そんなに挨拶いる?って思う時もありますが、これがこの国のいいところだなと思っています。挨拶ってやっぱり大切なんだと考えさせられました。

相棒:みきゃん

